

NBストラテジック・ インカム・ファンド〈ラップ〉

米ドルコース

円コース

世界通貨分散コース

運用報告書(全体版) 第8期

(決算日 2018年11月16日)

(作成対象期間 2018年5月17日～2018年11月16日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米ドル建ての複数種別の債券等に投資するとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3247>
<3248>
<3249>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券
信託期間	約10年間(2014年11月28日～2024年11月15日)
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ/NB・ストラテジック・インカム・ファンド(※)」の受益証券(円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券 (※)は、以下の各コースにおいて、次のように読み替えるものとします。 「米ドルコース」の場合…ノンヘッジ/N1クラス、「円コース」の場合…円ヘッジ/N1クラス、「世界通貨分散コース」の場合…通貨分散/N1クラス
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

米ドルコース

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分 配 落)	税 分 込 配 み 金	期 騰 落	中 率			
4 期 末 (2016年11月16日)	円 9,173	円 0		% 1.8	% 0.0	% 99.5	百万円 139
5 期 末 (2017年 5月16日)	9,815	0		7.0	0.0	98.7	159
6 期 末 (2017年11月16日)	9,851	0		0.4	—	98.7	127
7 期 末 (2018年 5月16日)	9,484	0	△	3.7	—	98.0	122
8 期 末 (2018年11月16日)	9,528	0		0.5	—	98.6	103

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

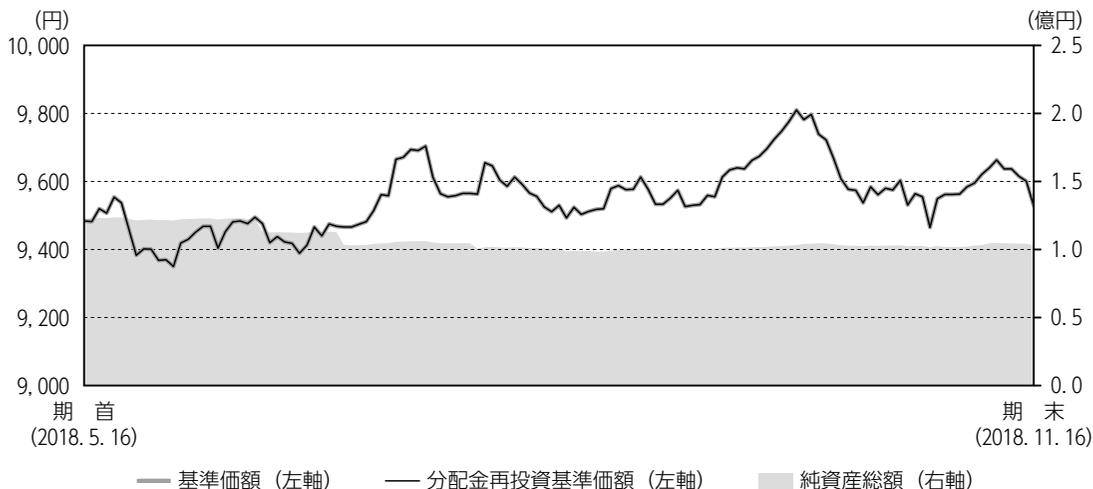
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：9,484円

期末：9,528円（分配金0円）

騰落率：0.5%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）」（以下「ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）」）といえます。）の受益証券を通じて、米ドル建ての複数種別の債券等（※）に分散投資し運用した結果、米ドル円為替相場の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※国債・政府機関債、投資適格社債、ハイ・イールド社債、資産担保証券、バンクローン等です。

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉 米ドルコース

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 受 組	信 証 入 比	託 券 率
	円	騰 落 率					
(期 首) 2018年5月16日	9,484	—		—			98.0
5月末	9,370	△ 1.2		—			99.4
6月末	9,440	△ 0.5		—			99.2
7月末	9,563	0.8		—			98.6
8月末	9,577	1.0		—			98.1
9月末	9,748	2.8		—			97.8
10月末	9,562	0.8		—			99.4
(期 末) 2018年11月16日	9,528	0.5		—			98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 5. 17 ~ 2018. 11. 16)

■ 米国債券市況

米国債券市場では、10年債利回りで見ると金利は上昇しました。

当作成期首から2018年5月下旬にかけては、米朝首脳会談中止の報道や米国の自動車関税引き上げ表明、またイタリアの政情不安などを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、金利は下落しました。その後8月中旬にかけては、米国の経済指標や貿易摩擦関連の材料、新興国をめぐる懸念の台頭などに一喜一憂する展開が続き、ボックス圏での推移となりました。8月下旬から10月上旬にかけては、米国の経済指標が市場予想を上回ったことや、9月に開催されたFOMC（米国連邦公開市場委員会）において利上げが実施されたことに加えて今後も利上げを継続する姿勢が示されたことなどから金利は上昇し、一時3.2%を超える水準となりました。その後はおおむね横ばいで推移し、当作成期末を迎えました。

■ 為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

米中貿易摩擦への懸念や南欧での政治的不透明感の高まりなどを受けて一時的に円が買われる動きも見られましたが、当作成期を通じて、堅調な株式市場や日米金利差の拡大などを背景に米ドル円は上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2018. 5. 17 ~ 2018. 11. 16)

■当ファンド

当ファンドは、ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を行ないませんでした。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当期	
	2018年5月17日 ～2018年11月16日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	371

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 5. 17～2018. 11. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	22円	0.234%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,554円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0.190)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(3)	(0.027)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	23	0.238	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2018年5月17日から2018年11月16日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 55.81519	千円 7,000	千口 210.27567	千円 26,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2018年5月17日から2018年11月16日まで)

当 期				期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
NB STRATEGIC INCOME FUND NON HEDGED N1 CLASS (ケイマン諸島)	55.81519	7,000	125	NB STRATEGIC INCOME FUND NON HEDGED N1 CLASS (ケイマン諸島)	210.27567	26,000	123

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NB STRATEGIC INCOME FUND NON HEDGED N1 CLASS	819.26736	101,937	98.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0	0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年11月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	101,937	98.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	1,664	1.6
投資信託財産総額	103,602	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年11月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	103,602,418円
コール・ローン等	1,664,079
投資信託受益証券（評価額）	101,937,341
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	998
(B) 負債	254,520
未払信託報酬	250,238
その他未払費用	4,282
(C) 純資産総額（A－B）	103,347,898
元本	108,465,749
次期繰越損益金	△ 5,117,851
(D) 受益権総口数	108,465,749口
1万口当り基準価額（C／D）	9,528円

* 期首における元本額は129,441,630円、当作成期間中における追加設定元本額は7,374,631円、同解約元本額は28,350,512円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,528円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5,117,851円です。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,916,818
(d) 分配準備積立金	2,108,644
(e) 当期分配対象額（a+b+c+d）	4,025,462
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	4,025,462
(h) 受益権総口数	108,465,749口

■損益の状況

当期 自2018年5月17日 至2018年11月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 462円
受取利息	25
支払利息	△ 487
(B) 有価証券売買損益	614,679
売買益	677,709
売買損	△ 63,030
(C) 信託報酬等	△ 254,574
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	359,643
(E) 前期繰越損益金	△ 1,164,080
(F) 追加信託差損益金	△ 4,313,414
(配当等相当額)	(1,916,818)
(売買損益相当額)	(△ 6,230,232)
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 5,117,851
次期繰越損益金（G）	△ 5,117,851
追加信託差損益金	△ 4,313,414
(配当等相当額)	(1,916,818)
(売買損益相当額)	(△ 6,230,232)
分配準備積立金	2,108,644
繰越損益金	△ 2,913,081

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

円コース

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分 配 落)	税 分 込 配 み 金	期 騰 落	中 率			
4 期 末 (2016年11月16日)	円 9,792	円 0		% 0.7	% 0.0	% 99.4	百万円 330
5 期 末 (2017年 5月16日)	9,964	0		1.8	0.0	99.1	535
6 期 末 (2017年11月16日)	9,963	0	△	0.0	—	99.4	549
7 期 末 (2018年 5月16日)	9,717	0	△	2.5	—	98.8	581
8 期 末 (2018年11月16日)	9,383	0	△	3.4	—	99.5	521

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

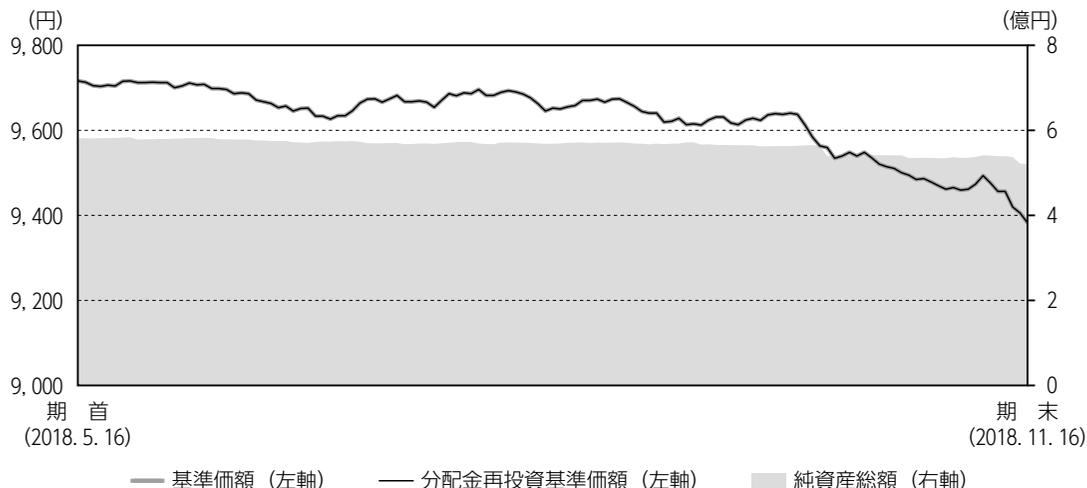
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：9,717円

期末：9,383円（分配金0円）

騰落率：△3.4%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）」（以下「ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）」といいます。）の受益証券を通じて、米ドル建ての複数種別の債券等（※）に分散投資し、為替ヘッジを行ない運用した結果、保有債券の価格の下落（債券利回りの上昇）などがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※国債・政府機関債、投資適格社債、ハイ・イールド社債、資産担保証券、バンクローン等です。

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉 円コース

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 組 入	信 証 比	託 券 率
	円	騰 落 率					
(期 首) 2018年5月16日	9,717	—		—			98.8
5月末	9,713	△ 0.0		—			99.1
6月末	9,634	△ 0.9		—			98.6
7月末	9,687	△ 0.3		—			99.2
8月末	9,645	△ 0.7		—			99.1
9月末	9,640	△ 0.8		—			99.2
10月末	9,470	△ 2.5		—			98.9
(期 末) 2018年11月16日	9,383	△ 3.4		—			99.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 5. 17 ~ 2018. 11. 16)

■米国債券市況

米国債券市場では、10年債利回りで見ると金利は上昇しました。

当作成期首から2018年5月下旬にかけては、米朝首脳会談中止の報道や米国の自動車関税引き上げ表明、またイタリアの政情不安などを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、金利は下落しました。その後8月中旬にかけては、米国の経済指標や貿易摩擦関連の材料、新興国をめぐる懸念の台頭などに一喜一憂する展開が続き、ボックス圏での推移となりました。8月下旬から10月上旬にかけては、米国の経済指標が市場予想を上回ったことや、9月に開催されたFOMC（米国連邦公開市場委員会）において利上げが実施されたことに加えて今後も利上げを継続する姿勢が示されたことなどから金利は上昇し、一時3.2%を超える水準となりました。その後はおおむね横ばいで推移し、当作成期末を迎えました。

■短期金利市況

短期金利市況は、日本では日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持し、短期金利は低位で推移しました。

一方、米国では、2018年6月および9月にそれぞれ利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを1.50~1.75%から2.00~2.25%に引き上げました。

前作成期末における「今後の運用方針」**■当ファンド**

ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に保つことにより、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2018. 5. 17 ~ 2018. 11. 16)

■当ファンド

当ファンドは、ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を行いませんでした。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2018年 5月17日 ～2018年11月16日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	230

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

ストラテジック・インカム・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 5. 17~2018. 11. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	23円	0.234%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,626円です。
(投信会社)	(18)	(0.191)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(3)	(0.027)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	23	0.238	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉 円コース

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2018年5月17日から2018年11月16日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 360.7869	千円 37,500	千口 733.33753	千円 76,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2018年5月17日から2018年11月16日まで)

当 期				当 期			
銘 柄	買 付			売 付			平均単価
	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	
NB STRATEGIC INCOME FUND JPY HEDGED N 1 CLASS (ケイマン諸島)	千口 360.7869	千円 37,500	円 103	NB STRATEGIC INCOME FUND JPY HEDGED N 1 CLASS (ケイマン諸島)	千口 733.33753	千円 76,000	円 103

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NB STRATEGIC INCOME FUND JPY HEDGED N 1 CLASS	千口 5,103.42251	千円 518,579	% 99.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 0	千口 0	千円 0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年11月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 518,579	% 96.6
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	18,451	3.4
投資信託財産総額	537,031	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年11月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	548,031,240円
コール・ローン等	7,451,068
投資信託受益証券（評価額）	518,579,175
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	998
未収入金	21,999,999
(B) 負債	26,718,163
未払金	11,000,000
未払解約金	14,370,769
未払信託報酬	1,324,325
その他未払費用	23,069
(C) 純資産総額（A－B）	521,313,077
元本	555,611,533
次期繰越損益金	△ 34,298,456
(D) 受益権総口数	555,611,533口
1万口当り基準価額（C/D）	9,383円

* 期首における元本額は598,854,743円、当作成期間中における追加設定元本額は69,944,840円、同解約元本額は113,188,050円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,383円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は34,298,456円です。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	8,420,362
(d) 分配準備積立金	4,402,479
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	12,822,841
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e－f)	12,822,841
(h) 受益権総口数	555,611,533口

■損益の状況

当期 自2018年5月17日 至2018年11月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,791円
受取利息	217
支払利息	△ 2,008
(B) 有価証券売買損益	△ 16,535,925
売買益	1,217,921
売買損	△ 17,753,846
(C) 信託報酬等	△ 1,347,735
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 17,885,451
(E) 前期繰越損益金	△ 8,193,385
(F) 追加信託差損益金	△ 8,219,620
（配当等相当額）	（ 8,420,362）
（売買損益相当額）	（△ 16,639,982）
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 34,298,456
次期繰越損益金（G）	△ 34,298,456
追加信託差損益金	△ 8,219,620
（配当等相当額）	（ 8,420,362）
（売買損益相当額）	（△ 16,639,982）
分配準備積立金	4,402,479
繰越損益金	△ 30,481,315

（注1） 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

（注2） 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3） 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

世界通貨分散コース

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額					公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分 配 落)	税 分 込 配	み 金	期 騰 落	中 率			
4 期 末 (2016年11月16日)	円 7,922	円 0	円 0	△	0.2	% 0.0	% 99.2	百万円 15
5 期 末 (2017年 5月16日)	8,923	0	0		12.6	0.0	99.5	17
6 期 末 (2017年11月16日)	9,062	0	0		1.6	—	99.2	16
7 期 末 (2018年 5月16日)	8,640	0	0	△	4.7	—	99.4	13
8 期 末 (2018年11月16日)	8,391	0	0	△	2.9	—	99.6	13

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

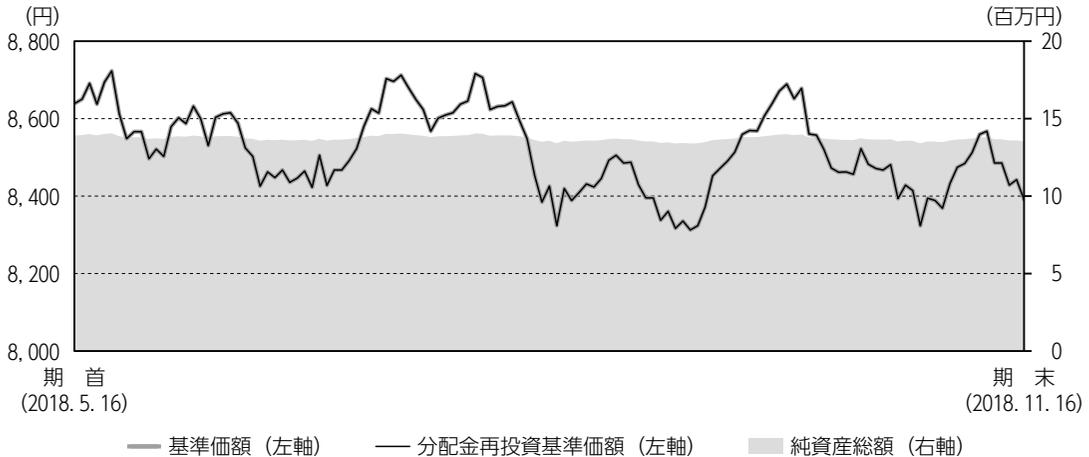
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：8,640円

期末：8,391円（分配金0円）

騰落率：△2.9%（分配金込み）

■ 基準価額の変動要因

「ダイワ・プレミアム・トラスト・ダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）」（以下「ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）」といいます。）の受益証券を通じて、米ドル建ての複数種別の債券等（※1）に分散投資し、為替取引等を活用して、分散通貨（※2）への投資成果の獲得をめざし運用を行なった結果、保有債券の価格の下落（債券利回りの上昇）などがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※1 国債・政府機関債、投資適格社債、ハイ・イールド社債、資産担保証券、バンクローン等です。

※2 分散通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引等の対象通貨として選定された通貨をいいます。

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉 世界通貨分散コース

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 受 組	信 証 益 入 比	託 券 率
	騰 落 率						
(期 首) 2018年5月16日	円 8,640	% —		% —			% 99.4
5月末	8,522	△ 1.4		—			99.4
6月末	8,423	△ 2.5		—			99.4
7月末	8,646	0.1		—			99.5
8月末	8,430	△ 2.4		—			99.5
9月末	8,639	△ 0.0		—			99.5
10月末	8,389	△ 2.9		—			99.6
(期 末) 2018年11月16日	8,391	△ 2.9		—			99.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 5. 17 ~ 2018. 11. 16)

■ 米国債券市況

米国債券市場では、10年債利回りで見ると金利は上昇しました。

当作成期首から2018年5月下旬にかけては、米朝首脳会談中止の報道や米国の自動車関税引き上げ表明、またイタリアの政情不安などを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、金利は下落しました。その後8月中旬にかけては、米国の経済指標や貿易摩擦関連の材料、新興国をめぐる懸念の台頭などに一喜一憂する展開が続き、ボックス圏での推移となりました。8月下旬から10月上旬にかけては、米国の経済指標が市場予想を上回ったことや、9月に開催されたFOMC（米国連邦公開市場委員会）において利上げが実施されたことに加えて今後も利上げを継続する姿勢が示されたことなどから金利は上昇し、一時3.2%を超える水準となりました。その後はおおむね横ばいで推移し、当作成期末を迎えました。

■ 為替相場

当作成期における分散通貨の値動きは、対円でおおむね下落しました。カナダ・ドル、メキシコ・ペソ、ブラジル・レアル、豪ドル、インドネシア・ルピア、ユーロ、韓国ウォン、英ポンド、インド・ルピー、ロシア・ルーブル、中国・人民元は対円で下落しました。一方で、米ドルは対円で上昇しました。

■ 短期金利市況

米ドル以外の選定した通貨の短期金利は、ユーロ、英ポンド、カナダ・ドル、韓国ウォン、豪ドルについては米ドルの短期金利を下回る水準で推移しました。その他の通貨については、米ドルの短期金利を上回って推移しました。

米国では2018年6月および9月にそれぞれ利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを1.50~1.75%から2.00~2.25%に引き上げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確

保をめざして運用を行ないます。

■ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

また、原則として米ドル売り／分散通貨買いの為替取引等を活用して、以下の方針に沿って選定した分散通貨への投資成果の獲得をめざします。

- ・原則として、先進国通貨と新興国通貨合わせて12通貨に均等投資することを基本とします。
- ・分散通貨は、各国経済規模や通貨の流動性等を考慮し、原則、年1回見直します。

※流動性が著しく悪化した通貨が存在する場合などには、投資する通貨が12通貨を下回る場合があります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2018. 5. 17 ~ 2018. 11. 16)

■当ファンド

当ファンドは、ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

また、為替取引等を活用して、分散通貨への投資成果の獲得をめざしました。取引対象通貨においては、先進国通貨と新興国通貨の中から各国の経済規模や通貨の流動性等を考慮し、12通貨を選定し、運用を行ないました。また、取引対象通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を行ないませんでした。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当期	
	2018年5月17日 ～2018年11月16日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	—

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ストラテジック・インカム・ファンド（通貨分散／N1クラス）

米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資を行なうとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンの最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

また、原則として米ドル売り／分散通貨買いの為替取引等を活用して、以下の方針に沿って選定した分散通貨への投資成果の獲得をめざします。

- ・原則として、先進国通貨と新興国通貨合わせて12通貨に均等投資することを基本とします。
- ・分散通貨は、各国経済規模や通貨の流動性等を考慮し、原則、年1回見直します。

※流動性が著しく悪化した通貨が存在する場合などには、投資する通貨が12通貨を下回る場合があります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 5. 17~2018. 11. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	20円	0.234%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,519円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.191)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(2)	(0.027)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	20	0.238	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

期首保有額	期中設定額	期中解約額	期末保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
12	—	—	12	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NB STRATEGIC INCOME FUND GLOBALCURRENCY N1 CLASS	156.64612	13,480	99.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0	0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年11月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	13,480	99.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	85	0.6
投資信託財産総額	13,567	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年11月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	13,567,764円
コール・ローン等	85,958
投資信託受益証券(評価額)	13,480,808
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	998
(B) 負債	32,625
未払信託報酬	32,085
その他未払費用	540
(C) 純資産総額(A-B)	13,535,139
元本	16,130,641
次期繰越損益金	2,595,502
(D) 受益権総口数	16,130,641口
1万口当り基準価額(C/D)	8,391円

* 期首における元本額は16,130,641円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,391円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,595,502円です。

■損益の状況

当期 自2018年5月17日 至2018年11月16日

項 目	当 期	
(A) 有価証券売買損益	△	369,059円
売買損	△	369,059
(B) 信託報酬等	△	32,625
(C) 当期損益金 (A + B)	△	401,684
(D) 前期繰越損益金	△	752,390
(E) 追加信託差損益金	△	1,441,428
(売買損益相当額)	(△)	1,441,428)
(F) 合計 (C + D + E)	△	2,595,502
次期繰越損益金 (F)	△	2,595,502
追加信託差損益金	△	1,441,428
(売買損益相当額)	(△)	1,441,428)
繰越損益金	△	1,154,074

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	0
(h) 受益権総口数	16,130,641口

ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド
(ノンヘッジ／N1クラス) / (円ヘッジ／N1クラス) / (通貨分散／N1クラス)

当ファンド（NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉米ドルコース／円コース／世界通貨分散コース）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド（ノンヘッジ／N1クラス）／（円ヘッジ／N1クラス）／（通貨分散／N1クラス）」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスを合算しております。

（注）2018年11月16日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表
2018年2月28日

資産

投資資産の評価額（簿価 \$27,192,723）	\$ 27,285,425
現金	568
外国為替先渡契約による評価益	394,652
未収：	
売却済みの投資	148,213
売却済みの投資（繰延受渡）	563,896
利息	75,761
スワップ契約に係る未収変動証拠金	53,957
資産合計	28,522,472

負債

外国為替先渡契約による評価損	4,801
先物取引に係る未払変動証拠金	18,974
未払：	
購入済みの投資	150,000
購入済みの投資（繰延受渡）	5,827,473
償還済み受益証券	46,858
専門家報酬	59,304
保管会社報酬	34,936
運用会社報酬	19,985
会計および管理会社報酬	14,703
名義書換代理人報酬	800
為替取引執行会社報酬	566

為替運用会社報酬	141
その他負債	928
負債合計	6, 179, 469

純資産 **\$ 22, 343, 003**

純資産

通貨セレクトクラス	\$ 1, 164, 147
通貨分散／N1クラス	131, 285
円ヘッジクラス	10, 391, 954
円ヘッジ／N1クラス	5, 659, 544
ノンヘッジクラス	2, 571, 259
ノンヘッジ／N1クラス	2, 424, 814
	22, 343, 003

発行済み受益証券口数

通貨セレクトクラス	1, 868, 808
通貨分散／N1クラス	156, 646
円ヘッジクラス	13, 015, 970
円ヘッジ／N1クラス	5, 662, 947
ノンヘッジクラス	2, 266, 340
ノンヘッジ／N1クラス	2, 145, 033

受益証券1口当り純資産額

通貨セレクトクラス	\$ 0. 623
通貨分散／N1クラス	\$ 0. 838
円ヘッジクラス	\$ 0. 798
円ヘッジ／N1クラス	\$ 0. 999
ノンヘッジクラス	\$ 1. 135
ノンヘッジ／N1クラス	\$ 1. 130

損益計算書

2018年2月28日に終了した年度

投資収益

受取利息（源泉徴収税 \$3,395 控除後）	\$	559,398
配当収益（源泉徴収税 \$105,021 控除後）		245,048
投資収益合計		804,446

費用

運用会社報酬		132,844
保管会社報酬		109,576
専門家報酬		59,564
会計および管理会社報酬		45,001
受託会社報酬		29,544
名義書換代理人報酬		9,434
登録料		2,128
為替運用会社報酬		2,089
為替取引執行会社報酬		1,826
費用合計		392,006

投資純利益

412,440

実現益（損）および評価益（損）：

実現益（損）：

証券投資		(29,487)
先物取引		36,265
スワップ契約		46,050
外国為替取引および外国為替先渡契約		166,611
純実現益		219,439

評価益（損）の純変動：

証券投資		(18,684)
スワップ契約		719
先物取引		31,325
外国為替換算および外国為替先渡契約		351,878
評価益（損）の純変動		365,238

純実現・純評価益

584,677

運用による純資産の純増

\$ 997,117

(米ドル建て)

投資明細表
2018年2月28日

	元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額	元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額
		債券 (78.4%)				HSBC Holdings PLC (a), (b), (c)		
		オーストラリア (0.5%)				6.00% due 2049/12/31		122,580
		社債 (0.5%)			USD	120,000		
		Westpac Banking Corp. (a), (b), (c)						<u>122,580</u>
USD	115,000	5.00% due 2049/12/31		\$ 109,947				<u>122,580</u>
		社債合計		<u>109,947</u>				
		オーストラリア合計 (簿価 \$115,000)		<u>109,947</u>				
		ブラジル (0.3%)				英国合計 (簿価 \$120,000)		
		社債 (0.3%)				米国 (74.9%)		
		Vale Overseas, Ltd.			USD	228,680		223,260
USD	55,000	6.25% due 2026/8/10		62,024				
		社債合計		<u>62,024</u>				
		ブラジル合計 (簿価 \$62,285)		<u>62,024</u>	USD	49,324		49,187
		フランス (0.4%)				1.53% due 2020/3/16		
		社債 (0.4%)			USD	240,000		240,640
		BNP Paribas S. A.				Capital One Multi-Asset Execution Trust Series 2014-A4 Class A4 (b)		
USD	85,000	2.38% due 2020/5/21		83,985		1.95% due 2022/6/15		
		社債合計		<u>83,985</u>	USD	60,000		59,993
		フランス合計 (簿価 \$84,174)		<u>83,985</u>		Capital One Multi-Asset Execution Trust Series 2016-A1 Class A1 (b)		
		メキシコ (0.8%)			USD	40,000		40,140
		社債 (0.8%)				2.04% due 2022/2/15		
		Grupo Bimbo SAB de CV (a)				Carrington Mortgage Loan Trust Series 2005-NC 5 Class M1 (a), (b)		
USD	100,000	4.70% due 2047/11/10		95,750		2.10% due 2035/10/25		279,357
		Petroleos Mexicanos (d)			USD	280,000		
USD	80,000	6.50% due 2027/3/13		85,510				
		社債合計		<u>181,260</u>		Carrington Mortgage Loan Trust Series 2006-NC 1 Class A4 (a), (b)		
		メキシコ合計 (簿価 \$183,958)		<u>181,260</u>	USD	415,000		409,852
		スペイン (1.0%)				1.93% due 2036/1/25		
		社債 (1.0%)				Carrington Mortgage Loan Trust Series 2006-RFC 1 Class A4 (a), (b)		
		Banco Santander S. A.			USD	415,000		409,148
USD	75,000	3.80% due 2028/2/23		72,076		1.86% due 2036/5/25		
		Telefonica Emisiones SAU			USD	415,000		
USD	150,000	4.90% due 2048/3/6		150,593		Chase Issuance Trust Series 2016-A2 Class A		196,985
		社債合計		<u>222,669</u>	USD	200,000		
		スペイン合計 (簿価 \$225,366)		<u>222,669</u>		1.37% due 2021/6/15		
		英国 (0.5%)				COMM Mortgage Trust Series 2013-LC 6 Class XB (b), (d)		
		社債 (0.5%)						

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額	元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額
USD 4,000,000	0.37% due 2046/1/10 COMM Mortgage Trust Series 2014-CR17 Class XA (b)		71,840		JP Morgan Mortgage Acquisition Trust Series 2007-CH1 Class MV 2 (a), (b)		
USD 1,485,118	1.12% due 2047/5/10 COMM Mortgage Trust Series 2014-UBS3 Class XA (b)		66,298	USD 115,000	1.90% due 2036/11/25 Morgan Stanley Bank of America Merrill Lynch Trust Series 2014-C16 Class XA (b)		113,861
USD 1,245,953	1.30% due 2047/6/10 CWABS Asset-Backed Certificates Trust Series 2005-AB1 Class M1 (a), (b)		63,228	USD 1,529,030	1.16% due 2047/6/15 Navient Student Loan Trust Series 2016-6 Class A1 (a), (b), (d)		69,248
USD 106,417	2.25% due 2035/8/25 Federal Home Loan Mortgage Corp. Structured Agency Credit Risk Debt Notes Series 2017-DNA2 Class M2 (a), (b)		106,133	USD 40,852	2.10% due 2066/3/25 Park Place Securities, Inc. Asset-Backed Pass-Through Certificates Series 2005-WCH1 Class M4 (a), (b)		40,956
USD 250,000	5.07% due 2029/10/25 Federal National Mortgage Association Connecticut Avenue Securities Series 2017-C03 Class 1M2 (a), (b)		274,103	USD 303,000	2.87% due 2036/1/25 RAAC Trust Series 2006-SP2 Class M1 (a), (b)		304,598
USD 110,000	4.62% due 2029/10/25 Federal National Mortgage Association Connecticut Avenue Securities Series 2017-C05 Class 1M2 (a), (b)		117,485	USD 200,000	1.96% due 2036/2/25 RAMP Trust Series 2005-RZ2 Class M4 (a), (b)		198,621
USD 75,000	3.82% due 2030/1/25 GS Mortgage Securities Trust Series 2014-GC18 Class XA (b)		76,341	USD 230,000	2.18% due 2035/5/25 Structured Asset Securities Corp. Mortgage Loan Trust Series 2005-WF4 Class M4 (a), (b)		229,772
USD 1,452,559	1.11% due 2047/1/10 GSAA Home Equity Trust Series 2005-5 Class B1 (a), (b)		64,823	USD 350,000	2.20% due 2035/11/25 Structured Asset Securities Corp. Mortgage Loan Trust Series 2006-AM1 Class A4 (a), (b)		351,977
USD 90,000	3.35% due 2035/2/25 Home Equity Asset Trust Series 2005-1 Class M5 (a), (b)		84,941	USD 100,033	1.78% due 2036/4/25 Toyota Auto Receivables Owner Trust Series 2017-B Class A2A (a)		99,662
USD 65,000	2.72% due 2035/5/25 HSI Asset Securitization Corp. Trust Series 2006-OPT1 Class M1 (a), (b)		63,195	USD 92,516	1.46% due 2020/1/15		92,198
USD 50,000	1.98% due 2035/12/25		49,484		資産担保証券合計		4,447,326
					社債 (15.7%)		
				USD 60,000	4.90% due 2046/11/30 AbbVie, Inc. (a)		64,523
				USD 70,000	4.70% due 2045/5/14 Anheuser-Busch InBev Finance, Inc. (a)		72,227

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

	元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額		元本	有価証券の明細	対純資産 比率	評価額
USD	45,000	4.70% due 2036/2/1 Apple, Inc. (a)		47,289	USD	65,000	4.02% due 2038/10/31 (a), (b)		62,811
USD	70,000	4.65% due 2046/2/23 AT&T, Inc. (a)		76,353	USD	60,000	5.15% due 2045/5/22 Hess Corp. (a)		64,724
USD	75,000	4.75% due 2046/5/15		71,059	USD	55,000	4.30% due 2027/4/1 Hewlett Packard Enterprise Co. (a)		53,839
USD	110,000	5.45% due 2047/3/1 Bank of America Corp.		114,596	USD	70,000	3.60% due 2020/10/15		70,804
USD	75,000	3.95% due 2025/4/21 BAT Capital Corp. (a), (d)		74,881	USD	95,000	4.90% due 2025/10/15 JPMorgan Chase & Co. (a), (b)		98,475
USD	105,000	4.54% due 2047/8/15 Broadcom Corp. / Broadcom Cayman Finance, Ltd. (a)		102,125	USD	55,000	3.88% due 2038/7/24		53,101
USD	20,000	3.50% due 2028/1/15		18,464	USD	55,000	3.90% due 2049/1/23 Kinder Morgan, Inc. (a)		51,761
USD	125,000	3.88% due 2027/1/15 Charter Communications Operating LLC / Charter Communications Operating Capital (a)		119,852	USD	85,000	5.00% due 2021/2/15 (d)		88,684
USD	165,000	4.91% due 2025/7/23		169,620	USD	90,000	5.55% due 2045/6/1 Kroger Co. (a)		94,759
USD	30,000	5.38% due 2047/5/1		29,695	USD	15,000	4.45% due 2047/2/1 Microsoft Corp. (a)		14,113
USD	65,000	6.48% due 2045/10/23 Dell International LLC / EMC Corp. (a), (d)		73,223	USD	55,000	4.50% due 2057/2/6 Morgan Stanley (a), (b)		60,382
USD	145,000	5.45% due 2023/6/15		152,756	USD	110,000	3.77% due 2029/1/24		107,644
USD	60,000	6.02% due 2026/6/15 Discovery Communications LLC (a)		64,059	USD	60,000	5.45% due 2049/12/31 (c) MPLX LP (a)		61,350
USD	60,000	5.00% due 2037/9/20		59,901	USD	65,000	4.13% due 2027/3/1		64,502
USD	50,000	5.20% due 2047/9/20 Energy Transfer LP (a)		49,703	USD	110,000	4.70% due 2048/4/15 Noble Energy, Inc. (a)		106,587
USD	45,000	6.50% due 2042/2/1 Energy Transfer Partners LP (a), (b), (c)		49,794	USD	75,000	5.25% due 2043/11/15 Synchrony Financial (a)		79,402
USD	105,000	6.63% due 2049/12/31 EPR Properties (a)		101,062	USD	35,000	2.70% due 2020/2/3 Verizon Communications, Inc.		34,757
USD	60,000	5.75% due 2022/8/15 Ford Motor Credit Co. LLC		64,145	USD	50,000	4.13% due 2046/8/15		44,549
USD	90,000	3.20% due 2021/1/15 General Electric Co. (a), (b), (c)		89,408	USD	74,000	4.67% due 2055/3/15 Wells Fargo & Co.		69,112
USD	295,000	5.00% due 2049/12/31 Goldman Sachs Group, Inc.		291,312	USD	35,000	2.55% due 2020/12/7		34,572
USD	35,000	2.60% due 2020/4/23 (a)		34,727	社債合計				
USD	75,000	3.69% due 2028/6/5 (a), (b)		72,975	国債・機関債 (39.3%)				
USD	135,000	3.81% due 2029/4/23 (a), (b)		131,808	Federal Home Loan Mortgage Corp., TBA (e)				
					USD	265,000	3.00% due 2033/3/1		263,758
					USD	185,000	3.00% due 2048/3/1		179,171
					USD	80,000	3.50% due 2033/3/1		81,368
					USD	845,000	3.50% due 2048/3/1		843,933
					USD	1,100,000	4.00% due 2048/3/1		1,126,598
					USD	100,000	4.50% due 2043/3/15		104,710
								3,511,485	

- (1) この証券のすべてもしくは一部が2018年2月28日時点の先物取引の担保として取引相手に差し入れられています。
 (2) 0.5未満

投資明細表のすべての有価証券は運用会社の最善の判断に基づいて有価証券の所在地ではなく、リスクの所在国によって分類されています。

用語集：

TBA To be announced (事後告知) の略。米国政府機関によって発行される不動産ローン担保証券の先渡取引で、合意された将来の決済日に受渡しがされます。

- (a) 償還条項付き証券。
 (b) 2018年2月28日時点の変動金利証券。
 (c) 永久債。
 (d) 144A 証券 - 1933年証券取引法の規則144A の下でSECへの登録の適用除外になっている証券。これらの証券は、登録せずに主として適格機関投資家に転売が可能です。他に指定がない限り、これらの証券は非流動的だとはみなされません。
 (e) 発行日取引または繰延受渡しベースで購入された証券。

2018年2月28日時点で、以下の先物取引によりブローカーに対し現金 \$1,013の未払金があります。

2018年2月28日時点の先物取引（純資産の-0.1%）

ポジション	銘柄	限月	枚数	評価益 / (損)
Long	Brazil Real April Futures	2018年3月	4	\$ 840
Short	Euro-OAT March Futures	2018年3月	(4)	(5,086)
Long	Mexican Peso March Futures	2018年3月	9	4,591
Short	U. S. Treasury 10 Year Note (CBT) June Futures	2018年6月	(21)	(4,248)
Short	U. S. Treasury 10 Year Ultra June Futures	2018年6月	(11)	(5,823)
Long	U. S. Treasury 5 Year Note (CBT) June Futures	2018年6月	2	281
Short	U. S. Treasury Long Bond (CBT) June Futures	2018年6月	(8)	(8,516)
				\$ (17,961)

2018年2月28日時点で、以下の中央清算対象スワップ契約によりブローカーに対し現金 \$36,700の未収金があります。

2018年2月28日時点の中央清算対象のクレジット・デフォルト・スワップ契約（純資産の0.0%）

通貨	取引相手	想定元本	信用プロ テクション	インデックス	受取 / (支払)	インプライド 信用スプレッド	満期日	評価益 / (損)
USD	Goldman Sachs Group, Inc.	218,250	Sell	CDX. EM. 28 Index	1.000%	1.41%	2022/12/20	\$ 7,822

2018年2月28日時点の中央清算対象の金利スワップ契約（純資産の0.0%）

通貨	取引相手	想定元本	指標金利	受取 / (支払)	満期日	評価益 / (損)
USD	Goldman Sachs Group, Inc.	130,000	3-Month USD-LIBOR	Receive, 2.426%	2027/12/7	\$ 4,808
USD	Goldman Sachs Group, Inc.	130,000	3-Month USD-LIBOR	Receive, 2.432%	2027/12/7	4,627
						\$ 9,435

NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉

2018年2月28日時点の通貨セレクトクラス外国為替先渡契約（純資産の0.0%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	純評価益 / (損)
CNY	Citibank N. A.	1,199,958	2018/3/13	USD	190,270	\$ —	\$ (874)	\$ (874)
IDR	Citibank N. A.	2,591,624,948	2018/3/13	USD	190,576	—	(2,219)	(2,219)
INR	Citibank N. A.	12,910,405	2018/3/13	USD	199,618	—	(1,708)	(1,708)
MXN	Citibank N. A.	3,639,847	2018/3/13	USD	192,550	17	—	17
RUB	Citibank N. A.	11,014,368	2018/3/13	USD	191,209	4,106	—	4,106
TRY	Citibank N. A.	806,402	2018/3/13	USD	211,117	22	—	22
						\$ 4,145	\$ (4,801)	\$ (656)

2018年2月28日時点の円ヘッジクラス外国為替先渡契約（純資産の1.1%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	純評価益 / (損)
JPY	Citibank N. A.	1,112,135,733	2018/3/13	USD	10,174,837	\$ 254,801	\$ —	\$ 254,801

2018年2月28日時点の円ヘッジN1クラス外国為替先渡契約（純資産の0.6%）

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	純評価益 / (損)
JPY	Citibank N. A.	600,500,141	2018/3/13	USD	5,495,801	\$ 135,706	\$ —	\$ 135,706

通貨の略称

AUD	—	オーストラリア・ドル
CAD	—	カナダ・ドル
CNY	—	人民元
EUR	—	ユーロ
GBP	—	英ポンド
IDR	—	インドネシア・ルピア
INR	—	インド・ルピー
JPY	—	日本円
MXN	—	メキシコ・ペソ
NZD	—	ニュージーランド・ドル
RUB	—	ロシア・ルーブル
TRY	—	トルコ・リラ
USD	—	米ドル
ZAR	—	南アフリカ・ランド

<補足情報>

当ファンド（NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉米ドルコース/円コース/世界通貨分散コース）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2018年11月16日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を38ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2018年5月17日から2018年11月16日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
757 国庫短期証券 2018/8/13	400,002		
731 国庫短期証券 2018/7/10	280,000		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2018年11月16日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（78,295,904千円）の内容です。

国内その他有価証券

	2018年11月16日現在	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,996	<1.3>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第13期 (決算日 2017年12月11日)

(計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの第13期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位 (A-2格相当) 以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の30%以下

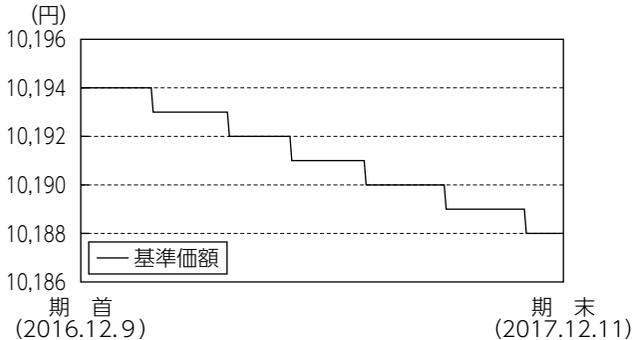
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率	
	円	騰 落 率 %	組 入 率 %	
(期首)2016年12月9日	10,194	-	30.1	
12月末	10,194	0.0	-	
2017年1月1日	10,194	0.0	30.7	
2月末	10,193	△0.0	24.6	
3月末	10,193	△0.0	-	
4月末	10,192	△0.0	32.5	
5月末	10,191	△0.0	5.2	
6月末	10,191	△0.0	0.5	
7月末	10,190	△0.0	0.1	
8月末	10,190	△0.0	-	
9月末	10,189	△0.0	-	
10月末	10,189	△0.0	-	
11月末	10,188	△0.1	-	
(期末)2017年12月11日	10,188	△0.1	-	

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,194円 期末：10,188円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は「長短金利操作付き量の・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

国 内	国債証券	買 付 額	売 付 額
		千円	千円
		210,925,408	(231,500,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

国 内	国内短期社債等	買 付 額	売 付 額
		千円	千円
		246,999,814	(246,999,819)

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

銘 柄	期	買 付 額		売 付 額	
		金 額		金 額	
		千円	千円	千円	千円
645 国庫短期証券	2017/2/20	27,570,641			
657 国庫短期証券	2017/4/17	17,880,344			
642 国庫短期証券	2017/2/6	17,230,250			
652 国庫短期証券	2017/3/27	16,550,132			
659 国庫短期証券	2017/4/24	16,270,410			
669 国庫短期証券	2017/6/12	15,870,490			
651 国庫短期証券	2017/3/21	13,160,344			
644 国庫短期証券	2017/5/12	11,970,533			
638 国庫短期証券	2017/1/16	9,360,075			
648 国庫短期証券	2017/3/6	7,370,272			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

■組入資産明細表

国内その他有価証券

	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,999	<1.4>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	69,737,046	100.0
投資信託財産総額	69,737,046	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	69,737,046,159円
コール・ローン等	68,737,047,077
現先取引(その他有価証券)	999,999,082
(B) 負債	60,400,000
未払解約金	60,400,000
(C) 純資産総額(A-B)	69,676,646,159
元本	68,390,547,168
次期繰越損益金	1,286,098,991
(D) 受益権総口数	68,390,547,168口
1万口当り基準価額(C/D)	10,188円

* 期首における元本額は66,967,614,984円、当期中における追加設定元本額は143,241,011,614円、同解約元本額は141,818,079,430円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A I 新時代 - (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A I 新時代 - (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワ F E グローバル・バリュー (為替ヘッジあり) 98,069円、ダイワ F E グローバル・バリュー (為替ヘッジなし) 98,069円、ダイワ / "R I C I" コモディティ・ファンド 8,952,508円、U S 債券 N B 戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、U S 債券 N B 戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、N B ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、N B ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、N B ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、D C ダイワ・マネー・ポートフォリオ 2,898,147,134円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト 317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド - パラダイムシフター - 9,853,995円、プルベア・マネー・ポートフォリオ IV 25,987,316,146円、ブル3倍日本株ポートフォリオ IV 31,864,786,854円、ベア2倍日本株ポートフォリオ IV 7,199,848,570円、ダイワ F E グローバル・バリュー株ファンド (ダイワ S M A 専用) 4,090,590円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド 164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ 68,368,780円、ダイワ新興国ハイインカム・プラス II - 金積立型 - 501,660円、ダイワ新興国ハイインカム債券ファンド (償還条項付き) 為替ヘッジあり 1,004,378円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド - インフラ革命 - (為替ヘッジあり) 988,283円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド - インフラ革命 - (為替ヘッジなし) 4,926,018円、ダイワ米国 M L P ファンド (毎月分配型) 米ドルコース 285,029円、ダイワ米国 M L P ファンド (毎月分配型) 日本円コース 144,570円、ダイワ米国 M L P ファンド (毎月分配型) 通貨αコース 13,437,960円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ 1,229,944円、ダイワ・世界コモディティ・ファンド (ダイワ S M A 専用) 235,407円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース 98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース 98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース 982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,188円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 41,076,414円
受取利息	△ 5,752,611
支払利息	△ 35,323,803
(B) 有価証券売買損益	9,224
売買損	9,224
(C) その他費用	△ 196,417
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 41,282,055
(E) 前期繰越損益金	1,302,196,055
(F) 解約差損益金	△ 2,715,466,915
(G) 追加信託差損益金	2,740,651,906
(H) 合計(D+E+F+G)	1,286,098,991
次期繰越損益金(H)	1,286,098,991

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。